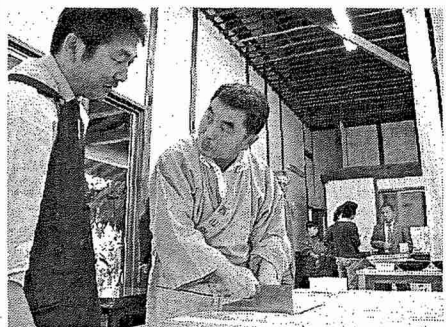


建設、異業種にかける

農水産業や環境



「玄人はだし、でそば打ちを指導する池田建設の池田博司社長

公共工事の減少に金融危機による景気減速が追い打ちをかけるなか、建設会社の新規分野参入が相次いでいる。農業や水産業のほか環境・リサイクル事業への進出が目立つ。各自自治体も支援制度を設け、進出を後押しする。ただ、新事業が軌道に乗るには時間もかかる。体力があるうちに収益の柱に育てられるかどうかは明暗を分けてぞうだ。

横山建設(熊本県苓北町)はこのほど、アワビを卵からかえして育てる養殖事業の新社、横山水産(熊本県天草市)を設立した。「公共工事が極端に減って廃業も考えだが、アワビなどの陸上養殖にかけることにし

た(横山森茂社長) 沖縄県の久米島にあるアワビの養殖施設などを見て回り、三年前から養殖を始め、昨年内に養殖事業部を立ち上げた。新社設立で卵から育てる完全養殖を目指す。

現在、十数軒のホテルにアワビを卸しているほか、通信販売などで売り上げを伸ばし、今年度は二千万円弱を見込む。池田建設(佐賀市)は農業分野に進出した。十

- 松田組 竹の切断装置
- 池田建設 観光農園開く
- 横山建設 アワビを養殖



月、そば打ちなどが体験できる観光農園施設「ふれあいの郷 森の家」を開設した。二〇〇五年に農業分野に進出して西山田農園を設立。地元の耕作放棄地約三畝を整地してブルーベリーや古代米、ソバ、ブドウなどの栽培を始めた。今年度の年商は昨年度の三倍の六百万円程度になる見込みという。観光農園の体験施設を開設することで、経営を軌道に乗せ「五年後に年商二、三千万円を目指す(池田博司社長)。

専用の装置を開発し、十月から販売を始めた。同社は昨年十一月、国土交通省の新分野進出モデル構築支援事業に選ばれ、竹林の整備事業に乗り出しており、竹を倒さずに切断できる装置も販売することにした。百五十

二百本の竹を二日で切断できるという。 魔ガラスをリサイクル

英国など海外七カ国へも輸出を始めた。タイなどの海水魚にも利用できるように、十月から佐賀県玄海水産振興センターで過材としての効果を認める試験に乗り出している。

建設業者に調査・研究費を補助する事業を始めた。補助率二分の一で上限は三十万円。これまで七件を採択。内訳は農業三件、福祉一件などとなっている。

自治体も進出支援

九州 額は一十 四、四二五 兆五千 四、〇減 者数は、 四年(度)

六万二千五百社とわずに増えており、過当競争に陥っている。このた各県は新たな収益源とする新分野進出を促す支援策を打ち出している。

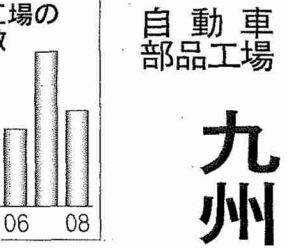
福岡県は今年度から新分野進出を検討している。大分県は今年度から新分野進出を検討している。

佐賀県は今年度から新分野進出を検討している。佐賀県は今年度から新分野進出を検討している。

日本経済新聞 2008年12月20日

大分県	8,787	4,547
	5,620	5,004
	▲36	10
熊本県	1兆497	7,624
	6,797	7,300
	▲35	▲44
宮崎県	8,384	6,023
	4,565	5,525
	▲46	▲48
鹿児島県	1兆750	5,521
	6,521	6,343
	▲39	15
沖縄県	8,296	5,066
	5,500 <td>5,389</td>	5,389
	▲34	6

(注) 上段は投資額、中段は建設業者数、下段は建設投資額。大分県は今年度から新分野進出を検討している。



九州進出、下期ゼロ

自動車関連部品工場の進出を見合わせる動きが広がったとみられる。特に下半期はゼロ件で、

入ってからは〇四一〇六年は二十件台で推移。「百五十万台体制」を合言葉に好調な生産が続いた〇七年は、五十二件と過去最高だった。

「水面下で進出を検討していた企業が考え直す動きが出たのではないかと、

小糸九州(佐賀市)の第二工場が生産能力を当初計画の半分にするなど、進出を決めた工場が

岡発着便の予約状況を発表した。日航は福岡ー羽田の予約数が前年同期比

政投銀割当先に優先株30億円 トライアルカンパニー